

第 1 号議案

平成 25 年度（平成 25 年 1 月 1 日～12 月 31 日）に係る報告

<事業報告>

1. 総 括

①創立 85 周年記念国際会議を平成 25 年 10 月 24 日、25 日の 2 日間にわたり、タワーホール船堀にて開催しました。参加者数は 247 名で、懇親会には 100 名以上が参加しました。25 日には、CSI 会議が開催され、SCAA の会長である Ken Lofhelm 氏が CSI 会長に選任されました。②会議開催に先立ち、85 周年記念会議実行委員会は記念会議の準備、実行、まとめのため合計 9 回開催いたしました。③機関誌である色材協会誌を年 12 回定期刊行しました。年間の総ページは 467 ページ、うち研究論文は 9 件、ノート 2 件、資料 1 件、解説 20 件、総説 12 件、講座 22 件、サロン 9 件、部会・研究会活動報告 3 件。毎号 1,700 部を印刷して全会員に配布し、また交流団体機関に寄贈しました。④5 月より PPV システム（文献ダウンロード課金サービス）を導入し、これまでに 13 件を販売した。またアクセス数をもとに表彰を行いました。⑤一般社団法人への移行に伴う法律の規定に従い、平成 24 年度の公益目的支出計画実施報告書を平成 25 年 3 月 8 日に内閣府へ提出し、5 月 24 日に審査が完了しました。⑥平成 24 年 12 月 31 日に公益目的支出計画が実施完了した確認書を内閣府より受理しました。⑦6 月に SCANZ Convention に色材協会を代表して川島会長が参加しました。

- 1) 会誌の発行：例年通り色材協会誌を毎月 1 回、計 12 回定期刊行し、会員に配布した。
- 2) 創立 85 周年記念国際会議を平成 25 年 10 月 24 日、25 日の 2 日間にわたり、タワーホール船堀にて開催した。基調講演 1 件、招待講演 4 件、キートン講演 3 件、色材協会賞受賞記念講演 5 件、一般研究発表 55 件、ポスター発表 50 件の充実した内容となった。海外 11 カ国からの参加者を含め参加者総数 247 名で、懇親会には 100 名以上の参加を得、盛況のうちに終了した。
- 3) 色材協会賞の表彰：上記 85 周年記念国際会議の期間中、色材協会論文賞 2 件、色材協会技術賞 3 件を表彰し、受賞者による記念講演が行なわれた。
- 4) 優秀講演賞、優秀ポスター賞の表彰：上記会議閉会後に選考を行い、優秀講演賞 8 件、優秀ポスター賞 10 件を表彰した。
- 5) 国際交流：本年度は 6 月 27-29 日に New Zealand の Chateau Tongariro Hotel で開催された The SCANZ (Surface Coatings Association New Zealand) Convention に色材協会を代表して川島会長が参加した。

2. 会員の構成

平成 25 年度の年度初めと年度末との会員数は次のとおりである。

	平成 25 年 1 月 1 日	平成 25 年 12 月 31 日
維持会員	166 名	166 名
正会員	885 名	922 名
学生会員	94 名	113 名
公共会員	14 名	14 名
合計	1,159 名	1,215 名

3. 組織・機構・会議

3.1 役員および名誉会員（平成 25 年 12 月 31 日現在）

	計	関東	関西	中部	
理事	50	29	16	5	会長 川島 徳道 副会長 川村 力（本部担当） 副会長 服部俊雄（関東支部） 副会長 森史郎（関西支部） 副会長 田口義高（中部支部）
監事	2	2	0	0	村田耕一郎、保坂洋
名誉会員	24	12	9	3	中岡俊雄、吉田豊彦、江口金満、岸直行、熊野勇夫、栃原重三、塩見卓資、小島正文、土井幸夫、濱田修一、篠原稔雄、村田耕一郎、桂宏光、森禎良、関根功、伊藤征司郎、筒井晃一、畑宏則、保坂洋、中澄博行、桑野浩一、藤谷俊英、松田充弘、阿部正彦

3.2 本部・支部および事務局（平成 25 年 12 月 31 日現在）

本部	会長 川島 徳道 副会長 川村 力 事務局 高野則広 生沼映子 小田愛子 森田佳代子	東京都渋谷区恵比寿三丁目 12 番 8 号 東京塗料会館 〒150-0013 電話 03-3443-2811
関東支部	支部長（副会長）服部俊雄	同上
関西支部	支部長（副会長）森史郎 事務局 大宅裕	大阪市北区東天満一丁目 9 番 10 号 大阪塗料ビル 2 階 〒530-0044 電話 06-6356-0700
中部支部	支部長（副会長）田口義高 事務局 中部科学技術センター内 学協会合同事務局	名古屋市中区大須一丁目 35 番 18 号 一光大須ビル 7 階 〒460-0011 電話 052-231-3070

3.3 会議

3.3.1 平成 25 年度通常総会（2/27）

通常総会は、1号議案：一般社団法人としての初年度に係る報告（事業報告・決算報告・公益目的支出計画実施報告・監査報告）、及び2号議案：役員辞任による新役員選任（3名）の件を承認した。また平成 25 年度事業計画および同収支予算が報告された。

3.3.2 理事会 3回

3.3.6 支部運営委員会 関西 4回、中部 2回

3.3.3 企画運営委員会 4回

3.3.7 色材協会賞選考委員会 1回

3.3.4 編集委員会 12回

3.3.8 監査委員会 1回

3.3.5 経理委員会 1回

3.3.9 予算委員会 1回

3.4 委員会・部会・研究会

3.4.1 編集委員会 委員長：浅田匡彦、副委員長：柴田雅史、久司美登

3.4.2 企画運営委員会 委員長：川島徳道

3.4.3 色材協会賞選考委員会 委員長：柴田雅史（論文賞）、服部俊雄（技術賞）

3.4.4 広報委員会 委員長：高橋俊哉

3.4.5 顔料部会 部会長：服部俊雄（関東支部）、山本正治（関西支部）

3.4.6 塗料部会 部会長：長沼桂（関東支部）、若狭國彦（関西支部）

3.4.7 印刷インキ部会 部会長：山中俊雅（関東支部）、中立貴之（関西支部）

- 3.4.8 インクジェット部会 部会長：下村明彦
- 3.4.9 顔料物性研究会 会長：船倉省二
- 3.4.10 木材塗装研究会 会長：大隅豊康
- 3.4.11 測色研究会 会長：武井昇
- 3.4.12 印刷インキ技術研究会 会長：山中俊雅
- 3.4.13 ホームページ委員会 委員長：須原常夫
- 3.4.14 85周年記念国際会議 組織委員長：川島徳道、実行委員長：森史郎

4. 委員会活動の概要

4.1 85周年記念会議実行委員会

平成25年度は以下の活動により準備、実行、まとめを行った。

実行委員会（9回：1/15、2/25、4/5、5/16、6/14、7/10、8/9、9/13、10/9）

5. 行事および事業の概要

5.1 本部

5.1.1 編集事業

機関誌である色材協会誌は年12回の定期刊行。年間の総ページは467ページ、うち研究論文は9件、ノート2件、資料1件、解説20件、総説12件、講座22件、サロン9件、部会・研究会活動報告3件。毎号1,700部を印刷して全会員に配布し、また交流団体機関に寄贈した。

5月よりPPVシステム（文献ダウンロード課金サービス）を導入し、これまでに13件を販売した。またアクセス数をもとに以下の表彰を行った。

○2012 JSCM Most Accessed Paper Award

石井利博, 橋本和明：“ビーズミルにおける粉碎粒子の粒子径に及ぼす粉碎条件の影響”,
J. Jpn. Soc. Colour Mater., 84 [5], 163-168 (2011)

○2012 JSCM Most Accessed Review Award

福井 寛：“粉体の表面処理”,
J. Jpn. Soc. Colour Mater., 84 [11], 386-392 (2011)

5.1.2 色材協会賞等の表彰（10/25）

（論文賞）

○「有田焼用の新規な鉛フリーCeO₂-ZrO₂-Bi₂O₃黄色顔料（英文）」

大阪大学大学院⁽¹⁾、佐賀県窯業技術センター⁽²⁾

増井 敏行⁽¹⁾、白石 敦則⁽²⁾、古川 慎也⁽¹⁾、

温 都蘇⁽¹⁾、布谷 直義⁽¹⁾、今中 信人⁽¹⁾

○「強制薄膜式リアクターを用いたフタロシアン固溶体ナノ粒子の作製およびその特性」

エム・テック(株)⁽¹⁾、東京理科大学大学院⁽²⁾、東京理科大学総合研究機構⁽³⁾

榎村 眞一⁽¹⁾、本田 大介⁽¹⁾、前川 昌輝⁽¹⁾、

酒井 秀樹⁽²⁾ ⁽³⁾、阿部 正彦⁽²⁾ ⁽³⁾

（技術賞）

○「新理論による半透明色CCM」

大日精化工業(株) 藤山 英子、斉藤 文義、渡邊 弥作、前田 智、間瀬 友浩

○「環境に優しい新水性塗装システムの開発および実用化」

マツダ(株) 神田 輝夫、山根 貴和、久保田 寛、松田 隆臣、和泉 昭雄

- 「液晶ディスプレイ向けカラーフィルタ用新規顔料（ピグメントグリーン 58）の開発」
 DIC(株) 嶋田 勝徳、木村 亮、勝部 浩史、工藤 新、立川 豊、矢尾 家昌、
 船倉 省二、佐藤 隆

5.1.3 色材協会創立 85 周年記念会議 (10/24～25 タワーホール船堀)

基調講演 「Toward Colour and Coatings in the Next Generation」
 日本塗料工業会 専務理事 橋本 光正
 招待講演 「Improving Asset Lifetimes using Fourth Generation Practices」
 Executive Officer APAS & PCCP President Mr. Ken Lofhelm
 「Modifications & Applications of Japanese Urushi Laquer」
 明治大学 理工学部 教授 宮腰 哲雄
 「Studies on Synthesis of Molecular Modified PDMDACC and Its Color Fixing Performance」
 Nanjing University Science & Technology Prof. Yuejun Zhang
 「Smart Polymers in Particles & Layers」
 Dresden University of Technology Prof. Hans-Juergen P.Adler

一般研究発表	55 件
ポスター発表	50 件
色材協会賞（論文賞）	2 件
色材協会賞（技術賞）	3 件
優秀講演賞	8 件
優秀ポスター賞	10 件
参加者	247 名

5.1.4 研究会活動

- ・顔料物性研究会 (3/6、3/12、6/5、7/12、9/10、11/13 参加者延 55 名)
- ・印刷インキ技術研究会 (3/28、5/29、7/19、10/24、12/12 参加者延 59 名)
- ・木材塗装研究会 (1/30、4/17、6/28、9/18、11/27-28 参加者延 86 名)

- 5.1.5 国際交流：本年度は 6 月 27-29 日に New Zealand の Chateau Tongariro Hotel で開催された The SCANZ (Surface Coatings Association New Zealand) Convention に色材協会を代表して川島会長が参加した。

5.2 関東支部

講座名	開催日	参加者
顔料分散講座 5 講	1/18	93 名
印刷インキ講座 5 講	5/16	85 名
塗料講演会 6 講	5/31	49 名
塗料入門講座 20 講	6/13. 14, 7/11. 12	75 名
色材協会関係コロイド化学セミナー 6 講	8/23	26 名
印刷インキアドバンス講座 5 講	10/9	55 名
塗料アドバンス講座 3 講	11/8	25 名
顔料物性講座 5 講	11/13	32 名
色材 I T 講座 12 講	11/19. 20	92 名

5.3 関西支部

講座名	開催日	参加者
色材セミナー 4 講	5/15	41 名
色材分散講座 5 講	7/2	35 名
塗料基礎講座 11 講	8/6. 7	39 名
色材講演会 4 講	10/28	20 名
見学会	11/21	17 名

5.4 中部支部

講座名	開催日	参加者
色材セミナー 4 講	3/13	81 名
色材オブザベーション (見学会)	7/19	18 名
色材分析講座 6 講	9/27	26 名
第 44 回中部化学関係学協会支部連合協議会秋季大会	11/2.3	—
色材アドバンスセミナー 4 講	11/25	19 名

5.5 関連学会・協会との共催・協賛による事業

行事名	主催	開催日
腐食防食部門委員会創立 50 周年例会(第 290 階例会)	日本材料学会	1/21
日本技術士会化学部会講演会	日本技術士会	1/24
第 30 回コロイド・界面技術シンポジウム	日本化学会	1/31~2/1
2012 年度印刷・情報記録・表示研究会講座	高分子学会	2/4~5
平成 24 年度第 3 回講演会	日本塗装技術協会	2/8
2013 年冬期セミナー	日本印刷学会	2/8
日本技術士会化学部会講演会	日本技術士会	2/28
第 28 回塗料・塗装研究会	日本塗装技術協会	3/7
第 9 回国際ウェアラビリティシンポジウム	マテリアルライフ学会	3/28
第 67 回顔料工学講座	日本顔料技術協会	3/14
第 55 回顔料・色材基礎講座	日本顔料技術協会	4/16~17
第 60 回技術セミナー	腐食防食学会	4/17
界面コロイドラーニング	日本化学会	5/5~10
日本技術士会化学部会講演会	日本技術士会	5/23
講話「レオロジー・クラシック」2013	日本レオロジー学会	6/13~14
第 24 回キャタリシススクール	触媒学会	6/17~21
界面コロイドラーニング	日本化学会	6/20~21
2013 年(第 51 回)日本接着学会年次大会	日本接着学会	6/20~21
第 12 回技術としての分散系レオロジー	日本レオロジー学会	7/5
マテリアルライフ学会「第 24 回研究発表会」	マテリアルライフ学会	7/5~6
第 33 回防錆防食技術発表会	日本防錆技術協会	7/11~12
平成 25 年度 第 1 回講演会	日本塗装技術協会	7/12
2013 年度 第 1 回 P&I 研究会シンポジウム	日本印刷学会	7/22
日本技術士会化学部会講演会	日本技術士会	7/25
第 31 回関西界面科学セミナー	日本化学会	8/2
筆で塗れる電子回路	神奈川技術アカデミー	8/7
第 55 回顔料入門講座	顔料技術研究会、日本顔料技術協会	8/29~30 9/5~6
2013 印刷・情報記録・表示シンポジウム	高分子学会	8/30
第 33 回農薬製剤・施用法シンポジウム	日本農薬学会	9/12~13
第 51 回紛体に関する討論会事務局	紛体工学会	9/12~14
第 64 回コロイドおよび界面化学討論会	日本化学会	9/18~20
第 18 回高分子討論会	日本分析化学会	9/19~20
第 4 回「塗装入門講座」	日本塗装技術協会	9/19~20
第 49 回学際領域セミナー	電気化学会	9/20
第 60 回材料と環境討論会	腐食防食学会	9/24~26
講習会 第 12 回技術としての分散系レオロジー	日本レオロジー学会	10/4
第 56 回 2013 年紙パルプ技術協会年次大会	紙パルプ協会	10/9~11

紛体工業展大阪	日本紛体工業技術協会	10/9～11
第 62 回技術セミナー	腐食防食学会	10/11
塗料産業海外セミナー	塗料産業研究所・塗料報知新聞社	10/16
第 178 回腐食防食シンポジウム	腐食防食学会	10/17
第 30 回製剤と粒子設計シンポジウム	紛体工学会	10/17～18
塗料産業海外セミナー	塗料産業研究所・塗料報知新聞社	10/18
第 63 回ネットワークポリマー講演討論会	日本接着学会	10/21～23
第 36 回鉄構塗装技術討論会	日本鋼構造協会	10/22～23
2013 年度 E&S 印刷研究セミナー	日本印刷学会	10/25
第 60 回界面科学部会秋季セミナー	日本油化学会	10/31～11/1
第 12 回食品レオロジー講習会	日本レオロジー学会	11/7～8
第 32 回無機高分子研究討論会	高分子学会	11/7～8
第 1 回実用技術講座	日本化学会	11/8
第 134 回ラドテック研究会講演会	ラドテック研究会	11/13
オレオナノサイエンスシンポジウム 2013	日本油化学会	11/22
日本技術士会化学部会講演会	日本技術士会	11/28
第 22 回ポリマー材料フォーラム	高分子学会	11/28～29
第 20 回ディスプレイ国際ワークショップ	映像情報メディア学会	12/4～6
第 33 回レオロジー講座	日本レオロジー学会	12/5～6
第 37 回紙パルプ計装技術発表会	紙パルプ協会	12/11
2013 印刷・情報記録・表示研究会基礎講座	産業技術総合研究所	12/17
第 40 回「感性研究フォーラム」講演会	繊維学会	12/21

6. 外部機関との交流

6.1 国内機関

6.1.1 共同事業

5.5 で記したように、国内の各学協会などと共催・協賛で事業を行った。

6.1.2 交流

国内の 52 団体などと交流し刊行物の寄贈交換を行った。

6.2 海外機関

本年度は 6 月 27～29 日に New Zealand の Chateau Tongariro Hotel で開催された The SCANZ (Surface Coatings Association New Zealand) Convention に色材協会を代表して川島会長が参加した。

国名	機関名
アメリカ合衆国 (4)	1. National Printing Ink Research Institute (Lehigh University) 2. A Division of the American Chemical Society Library 3. The Library of Congress 4. The Center for Research Libraries
ドイツ (3)	1. Forschungsinstitut für Pigmente und Lacke 2. Deutsche Farben-Zeitschrift Fachblatt für die Industrie der Farben und Lacke 3. Universitäts Bibliothek Hannover und Technische Informationsbibliothek
イギリス (2)	1. Information Center PIRA International 2. The British Library

ロシア (2)	1. Academy of Science of the Russian Library 2. All-Russian Institute of Scientific and Technical Information
中華人民共和国 (6)	1. THE International Exchange Section of the National Library of Peking 2. The Institute of Scientific Information, Academia China 3. Library, Exchange Section, Research Institute Of Chemical Processing and Utilization of Forest Products, Chinese Academy of Forestry 4. China National Chemical Information Center 5. China National Coatings Industrial Association 6. Changzhou Paint & Coatings Industry Research Institute Society of Coatings & Finishing of Ciesc National Paint & Coatings Industry Information Center
イタリー (1)	Instituto di Chimica Industriale del Politedenico
シンガポール (1)	Chemical Technology Center, Technology Development Division, Singapore Productivity and Standards Board

6.3 関連機関

C S I	Coatings Societies International
F A T I P E C	Fédération d'Associations de Techniciens des Industries Des Peintures, Vernis, Émaux, et Encress d'Imprimerie De l'Europe Continentale. (Federation of the Associations of Technicians of the Paint, Varnish and Ink Industries of Continental Europe)
A C A	American Coatings Association
O C C A	Oil & Colour Chemists' Association
S C A A	Surface Coatings Association Australia
S C A N Z	Surface Coatings Association New Zealand
S L F	Skandinaviska Lackteknikers Forbund
(F S P V T)	(Federation of Scandinavian Paint and Varnish Technologists)
S A T E R	Sociedad Argentina Da Tecnologos En Recubrimientos
S T A R	Sociedad De Tecnologos Andinos Recubrimientos

7. 公益法人制度改革関連事項

7.1 公益目的支出計画実施報告書の提出

一般社団法人への移行に伴う法律の規定に従い、平成 24 年度の公益目的支出計画実施報告書を平成 25 年 3 月 8 日に内閣府へ提出し、5 月 24 日に審査が完了した。

7.2 公益目的支出計画実施完了確認請求

平成 24 年度末の公益目的収支差額が公益目的財産額を上回ったため、実施完了の確認請求を平成 25 年 3 月 11 日に行った。7 月 18 日に確認請求の審査が終了し、平成 24 年 12 月 31 日をもって公益目的支出計画が実施完了した確認書を内閣府より受理した。

8. 付属明細書

平成 25 年度事業報告書には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。